



2025年度「第17回JTAトイレ賞」作品募集要項

一般社団法人日本トイレ協会 JTAトイレ賞実行委員会

1. 趣旨

2009年度からスタートした「グッドトイレ選奨」は、審査基準を見直し、2023年度より「JTAトイレ賞」と名称を改めました。「みんながいつでもどこでも気持ちよく使える」トイレ環境をつくり、それを持続できる社会をつくることを目標に、顕著な活動の実践や提案を行っている方を表彰するものです。トイレの環境づくりの模範になる作品を推奨いたします。

2. 応募部門と対象

応募部門を、作品や活動などを対象に下記の4部門といたします。

- A) 建築作品部門： 建築作品・インテリア作品（実施済のもの）
- B) 技術・研究・開発部門： 技術開発、研究論文、作品（著作・映像・プロダクト(製品・機器)）
- C) 維持・管理部門： 維持・管理、清掃など
- D) 社会的活動部門： 普及・啓発、教育、災害支援、ボランティア、市民活動、およびその他の総合的な活動など

※ 応募対象は、A) においては、使用開始半年以上を経過し、3年以内のものとし、

B)～D) で活動が継続中のものは、3年以上経過したものも応募対象とします。

過去に「グッドトイレ選奨」や「JTAトイレ賞」を受賞した作品は除きます。なお、他団体で発表・表彰されたものは応募対象とします。

3. 応募資格

年齢・会員資格の有無、国内外は問いません。英語での応募に対応いたします。参加費は無料です。

4. 選考方法および発表

(1) 審査委員会による選考（トイレに関わる専門家からの評価です）

部門ごとに「JTAトイレ賞」を選考いたします。より優れたものには「JTAトイレ大賞」の選考もあります。

さらに、「奨励賞」や、学生には「学生賞」などの特別賞も選考いたします。

選考結果の発表は、11月10日の第41回全国トイレシンポジウムで行います。（会場：機械振興会館（芝公園）内）

※学生賞は、筆頭応募者の学生を対象とし、社会人学生は対象外とします。

なお、審査の評価項目を、最後(3ページ目)に提示しています。

(2) 全国トイレシンポジウム参加者による選考

第41回全国トイレシンポジウム（機械振興会館(芝公園)）参加者による投票「一般投票賞」も設けます。

選考結果は、全国トイレシンポジウムの交流会、および後日トイレ協会HPにおいて発表します。

審査委員会

- ・委員長： 中野 和典（日本大学工学部 教授/環境生態工学、環境工学）
- ・副委員長： 長澤 夏子（お茶の水女子大学基幹研究院 教授/建築計画・環境心理）
- ・部門審査委員
 - A) 建築作品部門： 長澤 夏子（前掲）
小林 純子（協会名誉会長、(有)設計事務所ゴンドラ代表/建築）
 - B) 技術・研究・開発部門： 川内 美彦（元東洋大学ライフデザイン学部 教授/ユニバーサルデザイン）
上野 義雪（協会副会長、元千葉工業大学工学部 教授/室内計画・人間工学）
 - C) 維持・管理部門： 山戸 伸孝（(株)アメニティ代表取締役社長/トイレメンテナンス）
有泉 勝也（(株)小田急ビルサービス品質管理推進部/品質管理・都市環境・ビルメンテナンス）
 - D) 社会的活動部門： 山本 耕平（協会会長、(株)ダイナックス都市環境研究所代表取締役会長/環境・まちづくり）
中野 和典（前掲）
- ・委員： 高橋未樹子（コマニー(株)研究開発本部/ユニバーサルデザイン）
細野 直恒（NPO法人にいまーる理事/ICT、人間工学・ユニバーサルデザイン）
上梅澤保博（上梅澤建築設計事務所/建築）
- ・幹事： 浅井佐知子（JTAトイレ賞実行委員会委員長、(有)設計事務所ゴンドラ/建築・ワークショップ）
- ・アドバイザー： 高橋志保彦（協会名誉会長、神奈川大学 名誉教授/建築・都市デザイン）

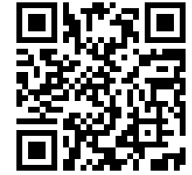
5. 応募方法および締切日

(1) 参加申し込み 締切 9月12日(金)

- 応募フォームに下記のア～カを明記のうえ、参加申し込みをして下さい。
- ア. 作品や活動の題名（可能であれば、英訳も提示）
 - イ. 応募者氏名・所属（受賞対象者氏名：複数名可能） 英語名も記載
 - ウ. 連絡担当者・連絡先（住所、mail アドレス、電話など）
 - エ. 応募部門
 - オ. 作品や活動の概要（規模・内容等を150字程度で記入してください）

※ 応募フォームはこちら。

<https://forms.gle/SDhLpABBPW3pgrUj8>



(2) 作品の提出

a. 全国トイレシンポジウム概要集掲載の原稿データ 締切 9月29日(月)

※こちらの提出資料で審査を行います。

- 作品を説明する資料（A4 1枚）をPDFデータで提出下さい。全国トイレシンポジウム概要集に掲載します。資料は、上下左右に1cmの余白をとり、応募作品のタイトル、応募者名を明記してください。説明内容の例 建築作品部門の場合・・・写真・平面図・概要・特徴・竣工(使用)開始年月など 維持・管理部門などの場合・・・写真・概要・特徴など

【原稿データ提出先】

jta-toiletaward@j-toilet.com（担当：高橋、浅井）

b. 全国トイレシンポジウム会場 展示のA1パネル 締切 10月31日(金)

- 「a. シンポジウム概要集掲載の原稿データ」と同じ内容で構いません。全国トイレシンポジウム会場に展示するA1パネル（カラー）を下記に送付ください。A1パネルは、スチレンボード（推奨厚さ：5mm）貼りでの提出をお願いします。額縁は付けしないでください。パネル製作について不明点がございましたら、お問い合わせください。

【A1パネル送付先】

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A (有)設計事務所ゴンドラ
一般社団法人日本トイレ協会 JTA トイレ賞実行委員会宛

- ※ 応募作品は、全国トイレシンポジウム会場展示の他、日本トイレ協会 HP に掲載します。
- ※ 英語での作成も可能で、日本語の訳は対応いたします。
- ※ 昨年の作品をトイレ協会の HP から閲覧することができます。

<https://do-amenity.app.box.com/s/2ho1n2qtb1h3map2q9pdlo5ggm997vbt>

- ※ 8、9月に開催する「うんと知りたいトイレの話」で、前年度の受賞者の作品発表が行われます。詳細は協会からの案内をご覧ください。（協会員無料、非会員1000円、非会員学生500円）
- ※ 提出データの著作権は、応募者に帰属します、ただし、協会の広報活動に利用させていただくことがありますので、ご承諾ください。
- ※ ご提供いただいた個人情報は、本イベントの運営および、今後のセミナーやイベントのご案内に利用させていただくことがあります。

【問い合わせ先】

一般社団法人日本トイレ協会 JTA トイレ賞実行委員会

募集担当 高橋未樹子（日本トイレ協会理事、コマネー(株)）

浅井佐知子（日本トイレ協会運営委員、(有)設計事務所ゴンドラ）

連絡先：高橋未樹子、浅井佐知子 E-mail：jta-toiletaward@j-toilet.com

メールでお問い合わせください。

郵送先：〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1FA (有)設計事務所ゴンドラ

一般社団法人日本トイレ協会 JTA トイレ賞実行委員会宛

日本トイレ協会は、①トイレ文化の創出、②快適なトイレ環境の創造、③トイレに関する社会的課題の改善に寄与することを目的に、1985年に任意団体として設立され、2017年に一般社団法人へと移行し、活動を続けてまいりました。メイン行事のひとつとして、11月10日を『『いいトイレ』の日』と名付けて、毎年その前後に全国トイレシンポジウムを各地で開催し、今年で41回目をむかえます。

2025 年度 JTA トイレ賞 審査評価項目

JTA トイレ賞の審査は、以下の視点に基づいて行われます。

A) 建築（インテリアを含む）作品部門

- ・ 建築物として基本性能（衛生性、快適性、安全性など）に優れているか
- ・ 建築物として付加的性能（利便性や社会性など）が優れているか
- ・ 建築物として持続可能性が考慮されているか
- ・ 建築物として造形や審美性に優れているか
- ・ 新しい視点を取り入れた建築物か
- ・ 合理的に設計された建築物か
- ・ 利用者の多様性への配慮がなされているか

B) 技術・研究・開発部門

- ・ 新規性がある研究・開発であるか
- ・ 今後の発展が期待できる研究・開発であるか
- ・ 信頼性の高い提案が行われているか
- ・ 製品・設備として優れているか
- ・ 実用性に優れているか
- ・ 社会に対して新たな価値を提案しているか
- ・ 魅力的なデザインであるか
- ・ 新たなデザイン的手法が取り入れられているか

C) 維持・管理部門

- ・ 清掃・衛生管理の実施内容が明確で適切であるか
- ・ 設備の維持・保守体制の内容が明確で適切であるか
- ・ 利便性・快適性・使い易さが考慮されているか
- ・ 経済性・実用性に優れているか
- ・ 利用者の多様性への配慮がなされているか
- ・ 教育・研修体制が確立されているか
- ・ 環境への配慮がなされているか

D) 社会的活動部門

- ・ 長年継続できる活動であるか
- ・ 地域社会に貢献する活動であるか
- ・ 社会に対して新たな価値を提案しているか
- ・ 利用者の多様性への配慮がなされた活動であるか
- ・ 環境への配慮がなされた活動であるか